

現代クラシック音楽界最高の巨匠による決意表明。16年ぶりの来日。

ダニエル・バレンボイム ピアノ・リサイタル

～ベートーヴェン・ピアノソナタの系譜～

2021年6月
2・3・4日 東京・サントリーホール
7日 大阪・フェスティバルホール
9日 名古屋・愛知県芸術劇場



©Monika Rittershaus

来日公演再開に際して

ニューズレターの発刊の間隔がだいぶ空いてしまいました。皆様いかがお過ごしでしたでしょうか。緊急事態宣言が延長されましたが、今も一進一退の日々が続いています。しかしながら、クラシックの公演においては会場での感染がこれまで一度も起こっていないことから、開催自体は可能になっていきます。これは業界関係者の地道な感染予防対策の成果であり、また所轄官庁に働きかけを続けてきた業界団体の窓口担当の方々の努力の賜にほかならず、感謝に堪えません。

同じく、海外アーティストの来日に際しても、入国後の待機期間の緩和が進められています。その結果、弊社では巨匠ピアニストのダニエル・バレンボイムの16年ぶりのリサイタルツアーを行えることになりました。本拠地のベルリンをはじめヨーロッパ各地でも公演のキャンセルが相次いだ結果、6月の12日間なら来日できるということになりました。当時14日間の待機期間を要していたところ、この期間が短縮になる事によってツアーの実現に至りました。これについても、政府機関に働きかけを続けてきた関係者の方の尽力には頭が上がりません。

弊社では昨年3月から120公演以上の来日アーティストの公演がキャンセルとなっており、辛酸をなめる思いをし続けてきました。いま規制が緩和され、久々の来日公演を手掛けるにあたり、縁あってバレンボイムのような巨匠の来日公演を行えるのはたいへん嬉しいことではあります。一方でこの公演が弊社にとって益あるだけでなく、クラシック音楽業界全体にとってプラスに働くよう努めていかなければならないと考えます。

バレンボイムのこの時期の来日公演が音楽界ならびに社会全体にとつてどのような意義があるか。まず業界にとつては、長らく表に出てコンサートに行くのをやめてしまった方々を会場に呼び戻すきっかけになるのではないかと考えます。また、規制緩和での招聘の端緒となるからには、感染対策を万全にし必ず成功させて他のアーティストの来日に続くようにしなければなりません。今回のバレンボイムの公演に際しては、来場していただく方々に最高品質の公演をお楽しみいただくと共に、「クラシックの音楽市場の再活性化」と「今後のアーティスト来日のための布石」の2点を大義名分とし、明日のクラシック音楽界を創る気持ちで臨んで参りたいと思います。

皆様方にはご指導・ご鞭撻を賜りたく、引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。



中村聡武

2021年5月31日
株式会社テンポプリモ 代表取締役

Concert Report コンサートレポート



第507回日経ミュージアサロン コハーン(クラリネット)&金子三勇士(ピアノ) デュオ・リサイタル

～「女性の日」に贈る、ハンガリーゆかりの二人の盟友が奏でる名曲の花束～
日経ホール 2021年3月8日(月) 午後2:00～、午後6:30～

日本を拠点に活躍するクラリネット奏者コハーンと人気ピアニスト金子三勇士のデュオ・リサイタルが行われました。

最初に披露されたのはロッシーニの「踊り」です。「ナポリ風タランテラ(舞曲)」とも呼ばれ、軽やかなリズムが楽しい楽曲で、小気味良いピアノの伴奏とクラリネットのお家芸である細かい音符に捲き立てられるように、コンサートへの期待がどんどん高まります。

その後はシューマン「幻想小曲集 作品37」やフォーレ「夢のあとに」が演奏され、コハーン氏が奏でるクラリネットの感情豊かな音色を存分に味わいました。リストの「猥亵」はピアノのソロステージ。シューマンが恋人に贈ったとされる歌曲を、リストが編曲したものです。愛に溢れた旋律を金子氏が情熱たっぷりに歌い上げます。それぞれのテクニックを大いに堪能することができ、前半の時点で大満足です。

曲間では息の合った漫才のようなトークで、楽器や作曲家についての解説を楽しめます。二人は共にハンガリーで音楽を学んだ盟友で、中学校のクラスメイトだそう。学生時代の思い出として即興演奏を披露してくれる場面もあり、プログラム以外も見逃せません。

後半はバルトークの「ルーマニア民族舞曲集」やコハーン氏作曲の「ハンガリー幻想曲」、ブラームス「ハンガリー舞曲第5番」といった、二人のルーツであるハンガリーの音楽が詰め込まれた楽曲たちが次々と演奏されていきます。互いの魅力を引き出すような活き活きとした掛け合いに、心が躍りっぱなしの2時間でした。

動画
このコンサートの様子は日経アートアカデミア(<https://academia.nikkei.co.jp/>)にて、アーカイブ配信されています。ぜひ、ご覧ください。

CD 今月のおすすめ CD



レーベル: Sony Music Japan International Inc. MONO/SICC327

『ゴールドベルク変奏曲(65年モノラル盤)』

バッハ

もう、かれこれ20数年前だったと記憶していますが、友人に誘われてグレン・グールドのドキュメンタリー映画を観に行きました。当時は、まだ彼のことは名前も聞いたことがありませんでした。それからだいぶ経ってからちゃんと聴いてみようと思い、CDを買いました。その帯には「今世紀を代表する天才ピアニスト」と記されていました。それがこの1955年のモノラル盤のバッハのゴールドベルク変奏曲です。

彼の指先から発せられる一音一音、リズム感覚がすばらしく、楽しくなってきます。よく聴いていると彼の息遣いが感じられます。ぜひおすすめしたい一枚です。

(牧)

編集後記

久しぶりの発行となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。思えば2020年の2月以来、コロナの影響で世界は大きく変わりましたが、それから丸1年以上が経過しました。

ふと考えると、LPの販売数が増えたと聞く一方で、演奏会のオンライン配信も一気に増えるなど音楽の聴き方が非常に多様化したように思います。元々、ネットラジオを聴いていた私も、LP・CDだけでなくオンラインの

最新演奏会の有料配信も聴くように。しかしそれでも、改めて公演に立ち会うと、生の演奏が生み出す感動は、何物にも代えがたいものがあると強く感じました。

そして今、バレンボイムの公演が実現しました。16年ぶりの日本でのピアノ・リサイタルは、それだけでも特別なものを感じますが、なかなか超一流演奏家の演奏会を聴く機会がない今、さらに特別な演奏会になることでしょう。出来れば、一人でも多くの方に生の音楽が生む感動に改めて触れてもらう機会になることを願っております。(宮嶋)

東京 カフェ巡り

突然ですが、最近までハリネズミブームが到来していたこと、皆様ご存知でしょうか。ハリネズミを飼っている人がTwitterに写真を上げ、テレビでも「マツコの知らない世界」などで取り上げられる話題に。実は筆者(昔、リスを飼っていた)も、かなり魅了されてしまった一人。そこでカフェ巡り初回の今回、ハリネズミカフェをご紹介します。

今回訪れたのはハリネズミ・カフェ HARRY。原宿や六本木、横浜などにお店があります。ハリネズミと触れ合えるスペースはケース(写真①、これが4,5個存在)でコントロールされていて、中央には触れ合い不可の大きいケースも存在。

店員さんから触れ合い方などの説明を受けた後、グローブをつけて、いざ。ハリネズミもドキッと反応しますが、気にせず一気に持ちましょう!それぞれに個性があって、大人しい子もいれば寝る子もいるし、暴れる子も。なかなか写真②のように綺麗に丸まってくれませんが、その可愛らしい顔を見ればなんとも癒されます。。。

ちなみに、来日したアーティストに紹介すると若い人はだいたい興味を示すので、良い話のタネにもなります。

ハリネズミカフェは、東京だけでなく大阪や神奈川、石川などにもお店があります。今回、訪れたHARRYの詳細は、下記URL先よりご確認ください。友人と訪れてもよし、SNSに上げててもよし、皆様もこの機会にぜひ。

(宮嶋)



お店の情報 **ハリネズミカフェ HARRY**
今回訪問したお店 原宿駅前店
<https://www.harinezumi-cafe.com/>

株式会社テンポプリモ マネジメント・オフィス
Tempo Primo Japan Co., Ltd. Management Office

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-19
銀座三真ビル4階

TEL: 03-3524-1221 FAX: 03-3524-1222
E-mail: info@tempoprime.co.jp
www.tempoprime.co.jp

経営理念

株式会社テンポプリモは、全従業員の物心両面の幸福を追求するとともに、3つのA(Artist, Audience, Art)に尽くし、芸術の力で世の中を明るくしてゆくことを経営理念と致します。

2022年度ラインナップ速報!

2022年度のラインナップをこの紙面で最も早くお伝えします。まず4月は**ラハフ・シャニ**指揮**イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団**が8年ぶりの来日。27歳でウィーンフィルの定期演奏会にデビューし、31歳でズービン・メータの後を継いでイスラエル・フィルの音楽監督に。さらに昨年はベルリン・フィルにデビューするなどまさに天才の名を欲しいままにしています。共演は大ヴァイオリンニスト**ジュリアン・ラクリン**と人気ピアニスト**藤田真央**。新生イスラエル・フィルによる久々の来日に花を添えます。海外オケストラは10月に**NDR北ドイツ放送フィルハーモニー交響楽団**。気鋭の指揮者**アンドリュー・マンゼ**のベートーヴェンプログラムに、昨年来日して大絶賛を博したピアノ界の巨匠**ゲルハルト・オピッツ**が共演します。コーラスでは「世界最高のカペラ」と名高い**ザ・キングズ・シンガーズ**が12月に来日。昨年は来日中止になりながらも、イギリスから積極的にオンライン配信を行って話題を博しました。4年ぶりとなる仕切り直しの来日公演に、あらためて期待が高まります。こちらも35回の国際コンクールで優勝を果たして「世界最高の女声合唱団」と呼ばれる**チエコ少女合唱団**がクリスマスコンサートを行います。エントテイメントの分野では、7月に**トリニティ・アイリッシュ・ダンス**、2023年1月に**ロイド・パトラー**指揮**ハリウッド・フェスティバル・オーケストラ**が来日。いずれも毎回各地完売が出る人気公演。本場アメリカの至高のエントテイメントを楽しめます。その他、**サラ・チャン**(Vn)、**ヤポルカイ兄弟**(Vn&Vc)、**ドミトリー・マスレーエフ**(Pf)、**ジャスミン・チェイ**(F)など、実力派の名ソリストが続々来日します!



イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団 (指揮:ラハフ・シャニ)



NDR北ドイツ放送フィルハーモニー交響楽団 (指揮:アンドリュー・マンゼ、ピアノ:ゲルハルト・オピッツ)



ザ・キングズ・シンガーズ

今後の弊社企画

- オーケストラ**
- 2021年11月 ミュンヘン交響楽団 (指揮:ジュリアン・ラクリン、ピアノ:モナ・飛鳥)
 - 12月 キエフ国立フィルハーモニー交響楽団 (指揮:ニコライ・ジャジュラ)
 - 2022年4月 イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団 (指揮:ラハフ・シャニ)
 - 9月 ポーランド国立放送交響楽団 (指揮:ローレンス・フォスター、ピアノ:角野隼人)
 - 11月 NDR北ドイツ放送フィルハーモニー交響楽団 (指揮:アンドリュー・マンゼ、ピアノ:ゲルハルト・オピッツ)
 - 12月 シュターツカペレ・ベルリン (調整中) (指揮:ダニエル・バレンボイム)
- エンターテインメント**
- 2021年10月 ピアノ・パトル
 - 2022年1月 シルク・ドゥラ・シンフォニー
 - 7月 トリニティ・アイリッシュ・ダンス
 - 8月 メロディカ・メン
 - 2023年1月 ハリウッド・フェスティバル・オーケストラ

2021-22年度

- 合唱**
- 2022年3月 ヘルシンキ大学男声合唱団
 - 11月 チェコ少女合唱団「イトロ」
 - 12月 ザ・キングズ・シンガーズ
- 室内楽**
- 2022年5-6月 モーツァルトハウス・ウィーン弦楽四重奏団
 - 6月 ポーランド弦楽オーケストラ(バルティック・ネアポリス)
 - 7月 ベルリン・フィル12人のチェリストたち
 - 10-11月 エスメ弦楽四重奏団
- 指揮・ソロ**
- 2021年10月 ドミトリー・マスレーエフ
 - 10-11月 ジュリアン・ラクリン(ヴァイオリン)
 - 11月 サラ・マクエルレイヴィ(ヴァイオリン)
 - 12-1月 ニコライ・ジャジュラ(指揮)
 - ヴァハ・マルディロシアン(指揮・ピアノ)
 - 2月 ヴァレリー・ポリャンスキー(指揮)
 - 4月 ポリス・ベトルジャンスキー(ピアノ)
 - 調整中 サラ・チャン(ヴァイオリン)

- 調整中**
- ジャスミン・チェイ(フルート)
 - アレクサンドル・ラム(チェロ)
 - ブラムウェル・トウヴェイ(指揮)
 - ホセ・セブレリエール(指揮)
 - マイケル・シール(指揮)
 - ジャン・レイサム=ケーニック(指揮)
- 邦人企画**
- さらら♪クラシックコンサート
 - 川島成道ヴァイオリン・リサイタル
 - 横浜シンフォニエッタ(指揮:山田和樹)
 - 假屋崎省吾×横山幸雄「ピアノと花の華麗なる世界」
 - 秋川雅史が語る歌うオペラ名曲コンサート
 - みんなのうたコンサート
 - デーモン閣下が贈る能楽公演「幽玄悪魔」
 - 言の葉コンサート「坂東玉三郎・天守物語」
 - 言の葉コンサート「尾上松也・竜馬がゆく」
 - 坂東玉三郎 お話と素踊りの公演
 - 坂東玉三郎トークショーと素踊りの公演
 - 片岡愛之助トークショー

おすすめ公演!

坂東玉三郎によるトークショーと素踊り

2007年から2014年にかけて言の葉コンサートシリーズに登場し、「天守物語」「海神別荘」「夜叉ヶ池」で泉鏡花の情念の世界を艶っぽく、また深い解釈をもって朗読し、全国の観客に大きな感動を与えた坂東玉三郎。歌舞伎の世界を超えて世界的に活躍する氏は、もはや日本芸術界の至宝とも過言ではありません。本公演は、休憩無しの約90分の公演を予定しています。

前半 前半のトークショーでは、歌謡界の立女形としての神髄、歴史的な背景を基とした話、五感で感じるエンターテインメントであること等々、また玉三郎のプライベートな話や裏話、質疑応答を交えて楽しく分かりやすく講演を行います。富山清琴・清仁による妙技に聞き惚れることでしょう。

後半 後半は、地唄舞「雪」を素踊りで富山清琴と息子の清仁の演奏と共にお届けします。人間国宝に認定された富山清琴とその息子の清仁による演奏と共に、坂東玉三郎の魅力をつつりとご堪能頂きます。また、冒頭で演奏される地唄作物「動行寺」では、



2021年度内もまだ空いている日にちなどありますので、気軽にお問い合わせください。

2021年7月3日(土) すみだトリフォニーホール 大ホール 開催予定

第5回

ニシエヒガシエ 全国ホール探訪

岐阜 可児市文化創造センターala

岐阜県南部可児市、木曾川のほど近くに2002年に開館した可児市文化創造センターala。ガラスのファサードが美しい建物に、大小2つのホールに各種スタジオなどを備えています。ホールの素晴らしい音響や充実した設備もさることながら、注目すべきはその独自の企画。コンサートのみならずワークショップやアウトリーチ活動を含む新日本フィルハーモニー交響楽団との地域拠点契約、可児を拠点に制作した演劇作品を全国に発信する「ala Collectionシリーズ」、従来の常識を覆し当日券が半額になる「当日ハーフプライス・チケット制度」など、個性的な取り組みを数多く行っています。そんな取り組みの甲斐あってか、10万人規模の町にあって年間来場者数は30万人を数え、さらに年間500人を超える業界関係者の視察を受けるほどの盛況ぶり。それもそのはず、「人間をど真ん中に据えた経営」が心掛けておられる館長は、「芸術の殿堂」としての施設ではなく「人々の様々な思い出が詰まっている人間の家」としての施設、「芸術のための芸術」ではなく「人間のための芸術」でありたいと思っておられるそう。地域のお客様を愛するあまり、お誕生日に来場されたお客様には館長じきじきのご挨拶とお花のプレゼントもあるんだとか…。そんな可児市民の拠り所となっている可児市文化創造センターala。昨年10月にリニューアルされたばかりでピカピカです。お近くにお越しの際には、ぜひ足をお運びください。今後の快進撃にも要注目です!



Concert Report

コンサートレポート



ジュリアン・ラクリン(指揮/ヴァイオリン)
ロシア国立ユースオーケストラ
モスクワ・チャイコフスキーコンサートホール
2020年12月7日(月)

コロナ禍でコンサートのライブ配信が当たり前になり、海外のコンサートも手軽に聴くことができるようになりました。今回紹介するのは、弊社アーティストのジュリアン・ラクリンが出演したコンサート。ヴァイオリニストとしてだけでなく、指揮者としても活躍しているラクリン。そんな彼とロシア国立ユースオーケストラが共演したコンサートの様子が配信されています。ロシア国立ユースオーケストラは、モスクワの最高学府チャイコフスキー音楽院を始め、ロシア全土から集まった天才若手ソリストたちを中心に、ロシアが国の威信をかけて結成されたユースオーケストラであり、プロと同じ水準を誇っています。

1曲目はチャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲。ラクリンの弾き振りで演奏された。ロマンティックな1楽章の旋律をたつぷりと歌い上げるラクリンのヴァイオリンに、オーケストラも輝やかな音色で応えます。ユースオーケストラですと、若くは構成されていますが、そんなことを感じさせない細部まで行き届いた抑揚がとてつもなく美しい演奏でした。その後も、情感あふれるメロディや駆けまわるといったパッセージが、ラクリンの朗々と華やかな音色で奏でられていきました。2曲目のベートーヴェンの交響曲第5番「運命」は、実直でもとても熱い演奏。力強くも繊細な面も併せ持った歌い方が、聴いていて少しも飽きさせません。最終楽章は奏者のテンションも上がり、更に熱が高まっています。フィナーレでは鋭い弾力性と躍動感が溢れるパワフルな演奏に圧倒されました。

画面越しに鑑賞していても、奏者の熱が伝わってきてエネルギーをもらえるようなコンサートでした。こちらのコンサートは、YouTubeで観ることが出来ます。皆さんも是非ご視聴ください。



URL <https://www.youtube.com/watch?v=cNaySKxotyY&feature=youtu.be>

Recommended Artist Vol.9

今月のイチオシアーティスト エスメ弦楽四重奏団



2016年にケルン音楽大学で結成され、以来ヨーロッパのコンクールや音楽祭などで破竹の進撃を続けるエスメ弦楽四重奏団。いま世界で最も注目を集める若手カルテットです。「エスメ」という名前は愛や尊敬を意味する古いフランス語からとった名前だそうです。

2022年
11月

魅力その1 巨匠たちの薫陶

これまでに薫陶を受けてきた演奏家には、世界最高の室内楽奏者グンター・ピヒラー(アルバン・ベルク四重奏団)や名匠エバーハルト・フェルツ、ピアニストのアルフレード・ブレンデルをはじめ、巨匠たちの名前が連なります。現在はアルテミス四重奏団のハイメ・ミュラーのもとでさらなる高みを目指しています。

魅力その2 ヨーロッパで大評判、最注目株へ

2018年のウィグモア・ホール弦楽四重奏コンクールでは、ベートーヴェンのベスト賞など4つの特別賞を得て優勝したエスメ弦楽四重奏団。その後もトロンハイムやハイデルベルクのコンクール特別賞などを通じてヨーロッパで急速に評価を高め、ルツェルン音楽祭、エクサン・プロヴァンス音楽祭、フラジェ音楽祭などでも活躍の幅を広げています。

魅力その3

デビュー・アルバムも必聴

2020年1月発売のデビュー・アルバムに収録されたのは、ベートーヴェン「弦楽四重奏曲第1番」とフランク・ブリッジによる情景的な「3つのノヴェレツェ」、現代作曲家の陳淑淑による「パラメータ・ストリングス」の世界初録音。個性の全く違う3曲ながら、高い技術力と豊かな歌心による丁寧な表現で、それぞれの曲の魅力を余すところ無く引き出しています。



オススメCD

「To Be Loved」 エスメ弦楽四重奏団
Alpha ALPHA590